

三 (1983年) 1 月 7 日 (金曜日)

E版 (6)

夢のかけ橋

寄函トンネルの先進導坑は

今月末に償還する予定だが、

今度は日本人韓国訪問二十

口を海底トンネルで結ぶ一日

「トンネル」構想が民間研究

団体に鍛えられている。

青函トンネルの技術顧問でも

ある左々保護北大名警教授

(五) 日本、中国、印度、南洋、西伯利亚、蒙古、西藏、新疆、青海、甘肃、宁夏、陕西、山西、河北、山东、河南、湖北、湖南、广东、广西、福建、浙江、江苏、安徽、江西、四川、云南、贵州、福建、浙江、江苏、安徽、江西、四川、云南、贵州、

「エネルギー計画研究会」。

この構想はもともと戦前か

ら国鉄技師らにやうやくして

れた。昭和十八年に対馬で降



トンネルで日韓結ぶ

海底1300メートル……民間団体が大構想練る

戦中戦後の長い空白をばさ
んで、五十五年に大手建設会
社の大林組がそのP.R.雑誌
「季刊大林」でこの構想を提
唱した。東京・ソウル・北京
―天山南路―テヘラン―ロ
ーの構想に賛同。五十五年五月
に韓国に招かれたさい、ソウ
ル大、延世大、韓国エネルギー
―資源研究所で日韓トンネル
の必要性を訴えた。さらに昨
年一月には「日韓トンネル計
画」を完成させた。巨済島南端まで五十三・二キロ、

計画研究会ではすでに地形、地質など各種の委員会を作つて研究を進め、昨年十月から唐津市呼子地域で民間委託とボーリング調査も始めてい

上の地質調査、翌年には九州北端の加倉島で六百坪の試験（しすい）も行われた。しか

マードーバ―海峡―ロンドン
を鉄道でトンネルで結ぶ巨大
なプランだ。

「園研究会」を設立させた。

は途中に深い海盆があるため
鋼鉄とコンクリート製のチユ
ーブを連ね、海中につるす海

平和のかけ橋になる。まず民間で可能性などを地道に研究したうえで国家プロジェクト

し太平洋戦争で計画は中止、戦後に話は立ち消えになっていった。

「優秀な日本のトンネル技
術を確もつてやるのは皆し」
がロベットの左々名教授は」

おじ、日本舞は左馬具屋津市
平土かい酒場を総て寺坂井
てい、三十三の、三十三の、三十三の

中トンネルにする。全長百三十。余。工事は約二十年、工費は三百五十万といふ。

[illegible]

北